

症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置
1	男 70代	慢性心不全 (なし)	投与量不明 899日間 ↓ 20mg 61日間	<p>間質性肺炎</p> <p>投与開始日 本剤投与開始。 投与896日目 急性肺炎にて受診。 投与899日目 病状改善なく、入院加療。セフトリアム塩酸塩、アミカシン硫酸塩を併用、改善なし。 投与901日目 間質性肺炎の疑診断（抗生剤が原因かと推定）。メチルプレドニゾロン125mg DIV 4日間、その後プレドニゾロン30mg/日にて維持し症状改善。 投与903日目 軽快退院（プレドニゾロン30mg/日内服のまま）。 投与923日目 プレドニゾロン20mg/日まで減量、症状悪化なし。 投与960日目 呼吸困難増悪にて入院。画像診断（胸部CT）にて明らかなハニカム構造を認め、間質性肺炎と判断。本剤投与中止。 (投与中止日) 酸素吸入、パルス療法（メチルプレドニゾロン500mg×2 DIV）再開し、有効な反応を示す。 中止1日後 DLST検査実施。本剤陽性（S.I. 2.5）、ピルシカイニド塩酸塩水和物 陰性（S.I. 0.9） 中止11日後 DLST検査で本剤陰性（S.I. 0.9） 中止13日後 40℃の発熱あり、一般状態不良となり他院転院。 中止16日後 多発性脳出血のため死亡。</p>

臨床検査値

検査項目名	投与 899日目	投与 901日目	投与 906日目	投与 911日目	投与 918日目	投与 922日目	投与 942日目	投与 955日目	投与960日目 (投与中止日)	中止 1日後	中止 8日後	中止 11日後	中止 14日後
白血球数 (/μL)	5,610	6,570	7,590	6,700	5,630	5,590	8,600	8,440	5,940	6,280	7,630	5,250	15,870
好中球 (%)	68.5	65.7	80.8	73.4	—	64.7	84.4	—	79.8	78.1	83.6	—	—
好酸球 (%)	4.5	5.2	0.0	0.0	—	1.1	0.0	—	1.0	0.5	0.0	—	—
リンパ球 (%)	18.2	20.9	14.6	20.4	—	28.3	12.8	—	16.0	18.2	10.4	—	—
CRP (mg/dL)	6.62	6.52	0.89	0.25	0.04	0.02	0.09	4.60	7.85	14.62	1.53	0.81	4.97
LDH (IU/L)	430	—	346	—	388	391	604	592	543	729	585	—	—
KL-6 (U/mL)	600	—	—	983	859	—	685	—	—	780	—	—	834

併用薬：アスピリン，ワルファリンカリウム，ベニジピン塩酸塩，酸化マグネシウム，アセトアミノフェン，ピルシカイニド塩酸塩水和物